

## 2 平成 30 年度の水質概況

平成 30 年度は梅雨明け後の降雨が少なく、全ての水系のダム貯水量が減少したものの、その後の降雨で回復した。また、木曽川水系では夏季の豪雨等により河川が高濁度となり、一部の浄水場でカビ臭物質濃度が水質基準を超過した。矢作川水系、豊川水系においても夏季の降雨で濁度上昇と臭気異常があり、一部の浄水場で活性炭処理が必要となった。

### 1) 浄水

浄水場浄水池・供給点の定期検査結果は、全地点について省令で定める水質基準に適合していた。

### 2) 工業用水

8 月に 3 カ所の浄水場において水温が愛知県工業用水道給水規程に定める水質基準を超過したが、その他については水質基準に適合していた。

### 3) 原水及び浄水場原水

#### (1) 木曽川(木曽川・長良川)水系

佐布里池と愛知池で春季に黄金藻類 *Uroglena americana* がみられ、生ぐさ臭が確認された。佐布里池で春季にろ過閉塞原因種の *Asterionella formosa* が増殖した。愛知池では冬季にも *Uroglena americana* がみられたが、臭気は藻臭であった。

入鹿池で夏季に放線菌によると思われるカビ臭物質が、秋季には藍藻類 *Anabaena* spp. によるカビ臭物質が検出された。愛知池で夏季に *Anabaena* spp. が増殖し、カビ臭物質が検出された。

#### (2) 矢作川水系

矢作ダムで春季にろ過閉塞原因種の珪藻類 *Fragilaria crotonensis* や *Asterionella formosa* が増殖した。

#### (3) 豊川水系

駒場池で春季及び冬季に黄金藻類 *Uroglena americana* が増殖し、生ぐさ臭が確認され豊川浄水場では活性炭処理を行った。なお、秋季にカビ臭物質が検出されたが、原因となる生物はみられなかった。

三ツ口池で秋季に藍藻類 *Phormidium tenue* が計数され、カビ臭物質が検出された。冬季から春季にもカビ臭物質が検出されたが、原因となる藻類はみられなかった。

万場調整池で夏季に、漏出障害を起こす場合がある緑藻類 *Cosmarium* sp. が増殖した。また、冬季から春季にかけて藍藻類 *Anabaena* spp. の増殖によりカビ臭物質が検出され、

豊橋南部浄水場では活性炭処理を行った。さらに、1月に珪藻類 *Fragilaria crotonensis* が増殖した。

#### 4) 放射性物質検査

全地点で放射性物質は検出されなかった。